

各関係機関長 様
病害虫防除員 様

長崎県病害虫防除所長

注 意 報

平成17年度病害虫発生予察 注意報第2号

茶 クワシロカイガラムシ

1. 発生地域 (対象地域) 県下全域
2. 発生程度 多
3. 注意報発令の根拠
 - 1) 6月下旬の巡回調査(16筆)の結果、寄生株率は36.8%(平成3.6%)、発生圃場率は75.0%(平成31.9%)であり、この時期の寄生株率としては過去10年間で最高である(図1)。
 - 2) 近年、発生圃場が増加する傾向にある。

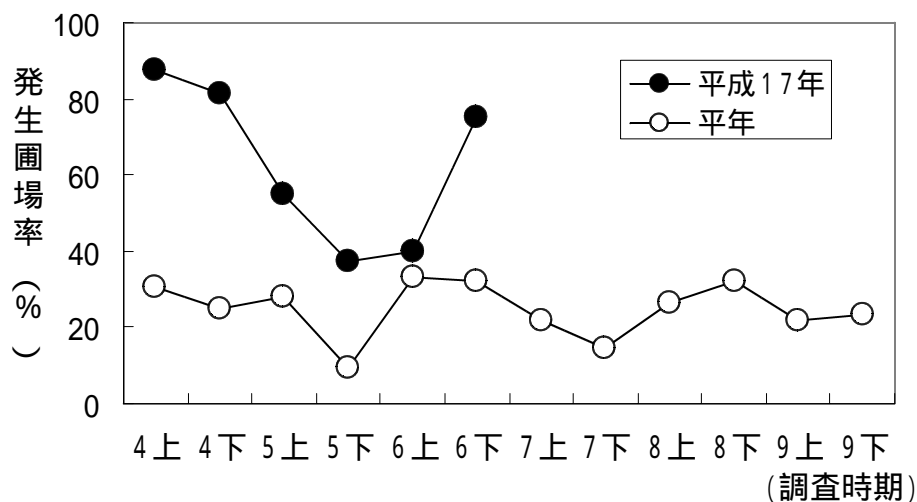


図1 クワシロカイガラムシの発生圃場率の推移(巡回調査)

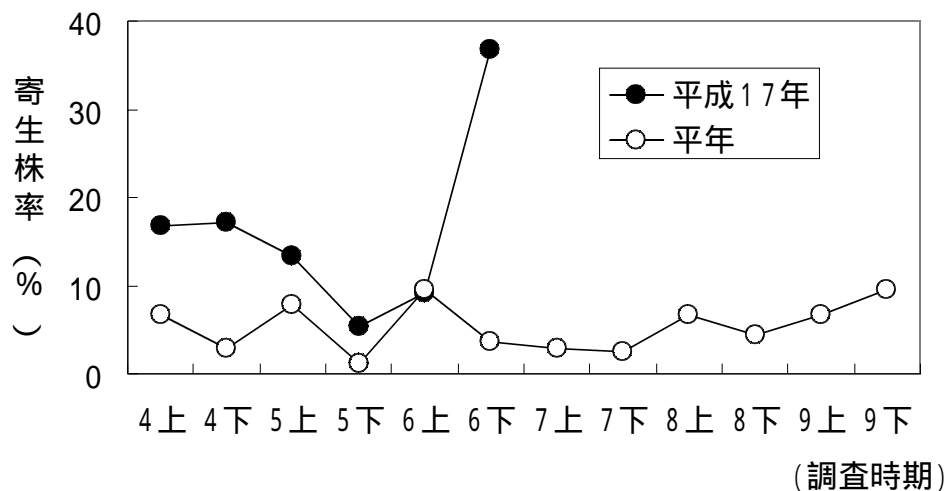


図2 クワシロカイガラムシの寄生株率の推移 (巡回調査)

4. 防除法

- 1) 1回脱皮してロウ質のカイガラを作りはじめると薬剤の効果が低下するので、下表の第2世代予測ふ化盛期当日～5日後に散布する。なお、独自にピーク日を現地調査し防除適期を判断している地域ではその判断を優先する。
- 2) 防除適期は地域や圃場によって異なるので、ふ化状況により薬剤散布を行う。
- 3) 株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。
- 4) 発生を認めていない園でも新たな発生に注意する。
- 5) 薬剤散布に当たっては、使用基準を遵守する。

表 クワシロカイガラムシ第2世代のふ化盛期予測日

地区名	東彼杵 赤木	東彼杵 太の原	世知原 板山	世知原 木浦原	五島 大津
ふ化盛期予測日	7 / 14	7 / 25	7 / 27	7 / 22	7 / 13

- 注1：ふ化盛期予測日は「有効積算温度則による防除適期予測法」により算出した。
 注2：使用する気温データには、ながさき農林業情報システム 500m メッシュ気象データを利用した。
 注3：平成17年7月3日現在で予測し（1月1日～7月3日まで実測値）、4日以降のデータは平年値を利用した。
 注4：同一地区内でも標高や土地条件で発生ピーク日が異なるので注意する。
 注5：第2世代ふ化盛期算出の前提となる第1世代ふ化盛期日は同システムを利用した予測値を使用した。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用下さい。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム（一部会員制、アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>）やその他の情報を閲覧することができます。

この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールで

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

Eメール：kngs0301@sp.jppn.ne.jp